



国際比較教育学会の国際大会に参加し、比較教育学や国際教育開発論の分野における知識を深めた。この学会には世界中から2000人近くの研究者や国際援助機関(ユネスコ、ユニセフ、世界銀行等)、NGOで活躍している専門家が参加し、研究成果を発表した。

国際協力研究科からも海外実習に参加した11名の学生のほとんどが研究成果を発表し、参加者から貴重なコメントを得ることができた。実習に参加した学生は学会に参加した研究者たちと活発に意見を交わし、将来の就職活動を兼ねたネットワーキングをするなど貴重な機会となった。

2週目は、世界銀行本部、米州開発銀行本部、米国際開発庁、ジョージワシントン大学、グローバルに展開する開発支援団体FHI

福井大、「優秀事例賞」を受賞 環境省主催の省エネ・照明デザインアワードで

福井大学では、医学部附属病院A棟(新病棟)の照明設備が、3月6日に東京都内で行われた「省エネ・照明デザインアワード2014」で、公共施設・総合施設部門の「優秀事例賞」を受賞した。患者に優しく癒やしを与える快適性や、医療行為が安全・安心に行える機能性、省エネ性、デザイン性に優れていると評価された。

医学部附属病院のA棟は、全館にLED照明器具を採用。手術室・ICU等では、業務に必要な明るさの確保だけでなく、最新の医療機器に電磁的影響を与えることがないよう、国際規格に準じた照明器具や、環境清浄度を満足させるクリンルーム対応の照明器具を導入した。

また、病棟には、診療・処置等に十分な明るさを確保しつつ、間接照明や暖色系の照明を採用し、患者が入院生活を快適に過ごせるような空間環境を創出している。さらに、高



表彰状を手に喜びの受賞職員

I360などを訪問し、人的資源開発の分野で活躍している専門家や研究者にインタビュー。現場の第一線で活躍中の実践家と意見を交わし、開発途上国における持続的な経済発展や貧困削減に関する知識を一層深めることができた。また、米国の基礎教育の評価などについても同国教育省の活動を通じて学んだ。世界銀行本部と米州開発銀行本部には、国際協力研究科の修了生が6名、専門家として活躍している。今回の訪問では、修了生に世界銀行に入ることが出来るゲストパスを2週間分発券してもらい、図書館を活用するとともに、専門家を紹介してもらうなど、さまざまな支援を受けた。

研修終了後には、海外実習参加者各自が実習前に設定した人的資源開発に関するテーマについて得た資料・データ収集、インタビュー調査をもとにレポートを作成する。国際協力研究科では、海外実習が正規の単位取得講義として認められている。



A棟外観(夜景写真)

効率のLED照明器具を人感センサー等による制御にして、省エネ・省CO₂・省コストを図り、地球環境に優しく、かつ病院経営に貢献することを目指した。

これからの医療施設の照明に求められる機能性、省エネ性、快適性、デザイン性及び経済性に配慮されているとの評価を得ており、福井大では、引き続き快適な医療環境の充実と地球環境の保全に取り組んでいく。